

新年のご挨拶

城西支会長 野村 潔



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様にも健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

新年にあたり、昨年1年間、各区商工行政ご担当の皆様、東京商工会議所各支部、はじめ各区の諸団体等の皆様、(社)中小企業診断協会本部および東京支部の皆様、並びに会員の皆様方から賜りました当支会へのご協力に対し厚く御礼申し上げます。

しかし、昨年は東日本大震災というかつてない悲しい事態を経験し、現在復興に向けて国、市町村が一体となって様々な施策を立ち上げており、当支会からも震災復興の支援・相談業務に会員が携わっており、昨年11月にBCP（事業継続計画）の勉強会を実施できましたことはタイミングを得た企画であったと認識しています。

さて、当支会は岡田前支会長の意思を引き継ぎ「内から外へ」のスローガンの具体的な活動に取り組んでまいりました。度重なる経営環境悪化の状況ではありますが、自助努力で経営の革新・変革を目指す中小企業の一助にならんとすべく支援活動を常態的に実施する「城西コンサルタントグループ」（昨年1月に一般社団法人として独立）を立ち上げ本年は活動の充実を一層図るつもりでおります。

また、11月には城西コンサルタントグループと城西支会国際部の共催並びに西武信用金庫様の協賛を戴き、中小企業の海外進出支援を目的とした「国際オープンセミナー」も開催できたこともあり、今後さらに踏み込んだ支援体制を築くべく努力いたします。

併せて、外部に通用する人材の育成を目的とした「城西プロコン養成塾」、「カバン持ち制度」も順調に実績を伸ばしており、積極的に取組む方針に変わりはありません。

本年4月の中小企業診断協会東京支部の一般社団法人化にともない、城西支会も機構と組織が大幅に変わります。名称等の変更はありますが、会員より求められ且つ期待される機能は変わりません。これまでの城西支会の持つ良き伝統は継承し、同時に新たな活動の活性化を目指し前向きに取り組む所存です。

昨年と同様に、商工行政の皆様、東京商工会議所各支部、区商連、工業産業協会をはじめとする経済関連諸団体の皆様、国際交流協会、文化交流協会、消費者団体など皆様のご支援、ご協力を賜りたく、よろしく願いする次第です。

最後になりますが、新しい年が会員皆様にとってご活躍、ご発展の年になりますようお祈りいたしましてご挨拶とさせていただきます。